

御記入の際は、同封の「記入要領」、「廃棄物コードリスト(記入要領裏面)」を御参照下さい。

1)事業所名			2)事業所所在地	〒 -	
3)記入者	(所属)	(連絡先) Tel : ()			
	(氏名)	Fax : ()			
4)業種			従業員数	(人) 平成15年3月末現在	
5)主な生産品・販売品・サービス等					

Q1. 企業連携によるゼロエミッションネットワークづくりの対象となる廃棄物について

貴事業所で現在、発生・排出している廃棄物の中で、企業連携により、リサイクルの推進や処理費の低減を図りたいと思う廃棄物種類について、以下の選択肢から選び、 を付けて下さい。(いくつでも)

1. 事業系一廃 2. 容器包装系廃棄物 3. 食品残さ 4. 廃プラスチック類 5. 木くず 6. 自社焼却灰(燃え殻、飛灰)
 7. 汚泥 8. ガラス・陶磁器くず 9. 廃酸 10. 繊維くず 11. ゴムくず 12. 使用済み製品 13. その他

に選んだ番号を記入し、その詳細について ~ の欄に記入してください。(注: 行が足りない場合は、恐れ入りますが、予めコピーをしてご記入下さい。)

No.	廃棄物種類		発生量(H14年度)		内容詳細 (性状・発生工程等)	現在の処理方法		処理・リサイクルにおける現状の問題点	
	名称	分類コード 大 小	数値	単位		記号	具体的に(自由記入)	記号	具体的に(自由記入)

別紙; 廃棄物コードリスト参照

ア~エから選択して記入

A~Pから選択して記入(いくつでも)

ア. 直接資源化している イ. 中間処理後、資源化している ウ. 中間処理後、最終処分している エ. 直接最終処分している

〔資源化方法の例〕原料化、燃料化、建設資材化、土地造成材化、飼料化、肥料化、土壌改良材化、金属回収 etc...

〔中間処理方法の例〕焼却、乾燥、脱水、油水分離、中和、圧縮、破碎、コンクリート固化、蒸留 etc...

〔最終処分方法の例〕安定型処分、管理型処分、遮断型処分、海洋投棄、保管 etc...

A 安価な処理・リサイクル方法がない	F 情報がなく、リサイクル方法がわからない	K 従業員にとって余分な手間が発生する
B 発生量が少なく量がまとまらない	G リサイクルが技術的にむずかしい(または不可能)	L 生産ライン等において余分な工程が発生する
C 不定期に発生する	H 様々なものが混合して排出されるため分別がむずかしい	M 処理・リサイクルに関する情報管理が大変
D 廃棄物の質が一定でない	I 複合材であるため分別がむずかしい	N 人材(担当者)がない
E 近くにリサイクル施設がないので、遠方までもっていかなくてはならない	J 分別等に対する従業員の理解・協力が得られない	O 分別・保管等のスペースがない
		P その他

